

跡施設活用の要望の取りまとめについて ～各団体からの回答状況～ 12 団体

団体		1 跡施設活用の要望		2 その他
種別	団体名	幸町第一小学校	幸町第二小学校	要望等
PTA	幸町第一小	<ul style="list-style-type: none"> 第一に、子どもたちのために活用できる場所として残してほしい。子どもたちが思いっきり自由に遊べる唯一の場所が幸一小である。今の広いスペースを公園などの形に残してほしい。 校庭開放でも多くの子どもが利用している体育館についても従来通り使用可能な状態にしてほしい。 校舎についても、地域等で有効に活用するなどの策を取り、廃墟とならないよう有効活用していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸一小と同様、子どもたちのために活用できるようにしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校は地域の避難場所として重要な役割をもっているため、残していく努力をしてほしい。千葉市が責任をもって子どもたち、住民の安全を守っていただきたい。 跡施設売却など絶対にないように。
	幸町第二小	<ul style="list-style-type: none"> 防災センター（食糧備蓄、防災用品保管、避難場所） サービス付高齢者向け住宅 病院 低所得者・高齢者向け住宅 区民へ開放し、行事やスポーツ等の行事に活用 	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉施設（保育所、託児所、子育て支援等） 高齢者福祉施設（老人ホーム、デイサービス等） 地域コミュニティ施設（図書館、運動場、体育館や教室の貸し出し） 防災センター（食糧備蓄、防災用品保管、避難場所） 生涯学習センター 生涯学習センター 生涯に貸与し、研修機関やスポーツ等に活用 公園 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設が多いため、子ども中心とした施設を希望する。
	幸町第四小	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化・再生などになるための施設 子どもたちが安心して遊べる広場・施設 きちんと整備された避難場所 子どもがいる世帯が長く住める住居 児童館 子どもの雨天でも遊べる場所 地域の包括支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> せっかく難聴などの教室があるので、特別支援学校として使う。 子どもたちが安心して遊べる広場・施設 きちんと整備された避難場所 子どもがいる世帯が長く住める住居 児童館 子どもの雨天でも遊べる場所 地域の包括支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 旧第二保育所のように、廃屋のような形で残すのは防犯上やめてほしい。それなら売却して、商業施設やマンションでも建てれば、地域の活性化につながると思う。 校庭や体育館使用団体が幸四小に集中して大丈夫なのか。
	幸町第一中	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが安心して過ごせる場所にしてほしい。（例：児童館） 地域の方も利用できるようにしてほしい。（例：包括支援センター等） 廃屋として取り残されないようにしてほしい。 特別支援学校 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の統合を考えるにあたり、幸二小を中学校の統合場所にしてはどうか。 	
町内自治会	幸町15街区	<ul style="list-style-type: none"> 体育館及び校舎は地域西側の避難場所として指定されている。今後も、避難所として必要な整備を行い、存続してほしい。（災害時に支援を必要とする高齢住民が多くなっており、これへの対応基地としての重要性も考慮いただきたい） グラウンドや体育館は、現在も地域の子どもたちや成人が種々の活動をしている場であり、自治会及び付随団体がイベントで利用しており、これらの活動を存続させるために必要とする。 当該地域には市の公園がない。公園（公衆トイレ施設付）として遊び場・運動場に、憩いの場に利用可能な形に整備していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の東側として、幸一小と同様にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今この団地では自然環境の不足がある。地域住民の居住環境・自然環境保持を行うことも必要と考える。（コンクリート建造物が増えのコンクリートジャングル化は避けてほしい） 住民は、学校施設であったことや避難場所とすることで、安心して過ごしている。売却による地域環境の悪化や様々な不安発生を防止願いたい。
	幸町東		<ul style="list-style-type: none"> 避難所に指定され、地区の重要な施設である為に跡施設も現状と同様な施設として存続を要望する。 	
千葉幸町団地	レクセルマンション稲毛	<ul style="list-style-type: none"> 幸一小・幸二小共に、千葉市の事業として地域コミュニティ活動を中心として活用する。例として、高齢者福祉施設、芸術家団体の練習場、子育て支援センター、大学セミナーハウス等があげられる。いづれにしても避難所の防災機能の拡充や防災拠点として整備をし、地域の人の為になることを千葉市に考えてもらいたいと思う。 犯罪の元とならないようにきちんと維持管理をお願いしたい。ニーズとして考えられるのは以下の通りである。 ①URに有効利用してもらおう。例えば建て替え中の代替地として利用する。 ②住民が有効利用する。学童保育、学習ルーム、お稽古、スポーツチームの練習場所、趣味の会（カラオケルーム、ダンス、習字等）、朝のラジオ体操 ③住民以外でも利用できる。店舗、アトリエ、手作り品の販売、家庭料理にて料理教室、工作室にて日曜大工教室 小学校の体育館を市民へ開放。幸町や美浜区だけでなく、広く市民へ開放できるか、使用料金の枠組みが必要と考える。 コミュニティセンター等を利用しているグループは、講師の先生の営利目的に使われていると聞いている。営利目的をどう扱うか枠組みが必要と考える。 学校の教室を小売店として利用することも考えられる。年寄りが多くなり、買い物は不便になる一方である。 地域のコミュニティの維持発展・防災に貢献させるような件を優先してほしいが、発想を転換して校舎全体を商品化するような考えもある。 避難所の利用も考え合わせて、前回の避難訓練でわかったようにトイレが大幅に不足している。増設をお願いしたい。 避難所として、体育館だけでは二丁目住民の何割も収容できない。避難訓練では参加できなかったような年寄りや子どもたちが避難してくるに違いない。足りない場合も想定できる。教室のままでも残しておくべきと考える。 跡施設の運営・維持管理が大切であり、特にセキュリティが心配される。安全第一でお願いしたい。 		
	幸町第二小	<ul style="list-style-type: none"> 幸町二丁目は6500余世帯が生活し、商店・企業などにも多くの人が勤務している。東西に長い幸町二丁目において、現在の小・中学校は、位置的にバランス良く存在しており、様々な活動を通じた地域コミュニティの形成などで、大きな役割を果たしている。幸町第一小学校、幸町第二小学校、幸町第四小学校の統合に伴う幸一小および幸二小の跡施設利用の検討にあたっては、住民の要望を十分に踏まえ、それぞれの施設がこれまで有していた街づくりの機能が継続されるよう、以下の通り要望する。 1. 震災時等に人命を守る避難場所・避難所として整備すること 震災時等に地域住民の安全と命を守るための避難場所・避難所として、両小学校の跡施設は、その位置や容量から見ても、極めて有効かつ重要である。今回の小学校統廃合によって避難場所・避難所が減ることは絶対に容認できない。千葉市の地域防災計画でも、「避難場所・避難所」については、日常的に身近な施設であり、距離的にも比較的至近な学校体育館、公民館等を指定して、必要な整備、改修を進めていくとしている。また、「避難場所」の役割・機能として「地域の防災活動の拠点」と位置づけている。 幸一小、幸二小の体育館・校庭・必要な教室（校舎）は、震災、高津波発生時の避難場所・避難所として整備するよう要望する。 2. 市の公園、スポーツ施設、子どもと高齢者など住民が憩う場所として整備すること 市の公園、広場は幸町一丁目はじめ美浜区内では、ほぼすべての町内ごとにつくられ、公衆トイレも設置されているが、幸町二丁目にはない。両小学校の跡施設は、子どもや高齢者などが安全・安心して憩うことができる場所として活用し、公衆トイレの整備を要望する。 3. 体育館・校庭はスポーツ団体が利用できるよう整備すること 現在、幸一小と幸二小の体育館と校庭は多くのスポーツ団体が利用している。スポーツを通して親睦を深め、青少年の健全育成を促し、地域の活力が生まみ出されている。これらの各種利用団体が従前通り利用できるように、スポーツ施設として充実を図るよう強く要望する。 4. 学校跡施設を民間業者等へ売却はしないこと 		
学校体育施設開放運営委員会	幸町第一小	<ul style="list-style-type: none"> 従来通り、スポーツ施設として使えるよう要望（10）（学校統合後も継続利用したい。健全育成、体力作りを図る場、治安の意味でも必要等） 地域の防災施設として非常に重要（3） 多目的運動広場 平成27年度以降の当該施設の耐震工事を要望 少年育成の為の施設 地域住民が多目的に活用できる施設 	<ul style="list-style-type: none"> 従前通り、スポーツ施設として使えるよう要望（5） 多目的運動広場 少年育成の為の施設 	<ul style="list-style-type: none"> 跡施設を利用できない場合、3校の施設利用団体が1校に集約されてしまうと円滑な運営が難しい。 小さい子どもから年配の方までたくさんの方が学校を利用させてもらっている。私たちには大切な空間である。道具も含めてこのまま使えることを本当に希望する。 幸一小・幸二小は共に、子どもルーム、避難所として大切な場所であり、その点でも活用できるように要望する。
	幸町第二小		<ul style="list-style-type: none"> 体育館・校庭の使用が今まで通り使えるように要望する。幸一小、幸二小が統合すると、各サークルが増え、体育館・校庭などの便が苦難になる。各学校の近くに住む子どもたち、子どもルームの子どもたちが遊ぶ・スポーツする場がなくなるので、今のままでもお願いしたい。 	
	幸町第四小	<ul style="list-style-type: none"> 従来通りのスポーツ施設として要望（3） 震災時の避難場所（2） 校庭・体育館はスポーツ団体・住民の場 校庭は多目的な広場として活用 時にはフリーマーケットの場として活用 校舎は成人・高齢者の学習の場 老人や住民のためのサークル活動の場 テナント誘致（ケーキ屋、喫茶店、学習塾、茶道・ピアノ・詩吟・そろばん・合気道教室等） 	<ul style="list-style-type: none"> 幸一小と同様 ※追加：公共施設（主に福祉・公園等） 	<ul style="list-style-type: none"> 幸一小、幸二小の跡施設を従来通りに使用可能となるよう要望する。1校に制限された場合、団体が多いため使用不可能になるため（2） 地域に不足している公共施設を設置すること 花いっぱい公園にしてほしい。 貸家庭菜園 イベント会場、広報活動の場
	幸町第一中	<ul style="list-style-type: none"> 合併後、現利用団体の振分け、新登録に本校も協力する予定であるが、限りがあるので跡施設の開放を希望する。 		<ul style="list-style-type: none"> 地元の高齢者の団体が学校事情で利用し難くなっている。平日の跡施設開放も考慮に入れていただきたい。